

重要業績指標(KPI)の変更提案一覧

番号	重要業績指標(KPI)		改正理由
	現在	改正案	
1	集団化が完了した企業数	-	事業内容が大きく変更となり、現在のKPIが実態に即さなくなった。新しいKPIは、変更後の事業において現在進めている調査(30年3月完了予定)の結果を見てから設定する。
13	学校給食への地元野菜供給量	地元野菜を供給した回数	児童数の減少が続く現状では、供給量の増加は見込めない。供給する回数を増やす方がKPIにふさわしい。
29	小児インフルエンザワクチンの予防接種を行った子どもの割合	市独自の予防接種を行った子どもの割合	KPIを設定した時点では、小児インフルエンザワクチンのみ実施していたが、その後、ロタウイルスへの助成もスタートした。市が設定するKPIとしては、1つの予防接種ではないほうが望ましい。
32	一時預かり利用者数	一時預かり保育利用希望者の利用率	一時預かりを利用したい人のニーズに対応できているにも関わらず、利用者数が減少しているということは、保育園等への利用者に移行したと考えられる。共働き世帯、ひとり親世帯の増加により、保育ニーズが増加している中、我孫子市では、保育園を増設し、待機児童ゼロを堅持している状況を見ると、保護者のニーズには対応できていることがわかる。そのため、KPIは人数で図るのではなく、ニーズにこたえられているのかという視点で設定することが好ましい。
34	父親対象のイベント参加人数	父親対象のイベント開催数	イベントでは、実際に参加者数が正確に把握できず、その増減によりKPIが左右されることは疑問である。市が取り組んでいることがわかるKPIが望ましい。
49	スポーツ大会の参加者数(市民体育大会、市民体力づくり大会、新春マラソン、手賀沼エコマラソン、スポーツ教室)	スポーツ大会の参加者数(市民体育大会、市民体力づくり大会、新春マラソン、手賀沼エコマラソン、スポーツ教室、手賀沼ふれあいウォーク、タートリンピック)	基本目標が、「あびこにずっと安心して住み続けられるまちづくり」であるにも関わらず、元気で健康な人しか参加できないイベントのみがKPIとなっているのはいかがか。市の取り組みとして、他の人を対象にしているイベントがあれば、加えるべき。 【タートリンピック参加人数】 【手賀沼ふれあいウォーク参加人数(我孫子市民)】 平成26年度:657名 平成26年度:494名 平成27年度:657名 平成27年度:658名 平成28年度:644名 平成28年度:101名 平成29年度:565名 平成29年度:11月18日開催予定 【ボールゲームフェスタ参加人数】 平成28年度:小学1~3年 49組98名、小学4~6年 128名 【大人のスポーツテスト参加人数】 平成28年度:112名 【地域スポーツフェスタ参加人数】 平成28年度:509名(市内3箇所)
53	協定救急病院への救急搬送率	救急隊員が市内医療機関処置等対応可能と判断した傷病者に対する市内医療機関収容率	病院の状況により受け入れられないこと、個人の希望により、搬送病院が指定されることなどにより、必ずしも協定救急病院のみに搬送できるわけではない。他者の都合で、市のKPIが左右され、人命に直結するKPIが左右されることは好ましくない。救急搬送率全体から、KPIが設定されることが望ましい。
60	市民活動ステーションの利用件数	市民活動の利用件数(会議室のみ)	無料だから、有料だからという理由で印刷機の利用者の増減が大きいが、印刷機の利用率が市のKPIを左右することは好ましくない。本来の市民活動が行われているのかを図るには、会議室の利用件数のみでよいと考える。

※「41. 児童・生徒に対する個別の指導計画の作成率」

目標値(31年度)が基準値(26年度)を下回っていることが有識者会議後に判明したため、達成率が200%となり「達成」となっているが、実際は「順調」である。今後、KPIの見直しも含め目標値の見直しが必要である。